

脳トレで!! 豆頭シャキッ!!

☆仲良く分けよう☆

図1のようなチョコレートももらったので、5人で仲良く図2の形に分けました。

図1

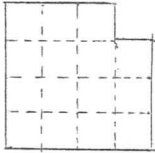
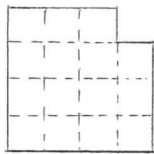


図2



(問) 図1のチョコレートを分けた部分に線を引きましょう。



窓を開けていても、とても気持ちがいい季節になってきましたね!! まだまだ、マスクの日々が、続モ、そうですが、最近、色々なマスクが、でてきていますね。マスクの色によって印象や肌の見え方が、ちがいます!! 今月はそんな「マスク」がテーマです。

本日は、ご来店頂き、ありがとうございます。

2021
5月号 No.191
MAMA'S NEWS

シャンプー・トリートメント

商品 10% off 6/1(火)~

マスクの色による印象と肌の見え方

白系

イメージ

清潔感がある正統派

肌の見え方

血色や肌のトーンが少し悪く暗く見える。

暖色系

イメージ

やわらかい、かわいい、子供っぽい、穏やか

肌の見え方

血色良くかわいく見える。赤みが強く見えることも。

寒色系

イメージ

透明感、すっきり、洗練された、大人っぽい

肌の見え方

透明感のある肌に見える。少しくすみやくまが目立つ。

ダーク系

イメージ

クール、スタイリッシュ、強い、すっきり

肌の見え方

顔の輪郭をひきしめる。シミなどが目立ちやすい。

肌荒れ対策! ~マスクと口まわりのお手入れ

マスクを着用する機会が増えたため、肌が赤くなって痛い、ヒリヒリとかゆい、ニキビができた...などのトラブルを抱える人も見られます。マスクと肌の摩擦が乾燥や肌荒れの原因になったり、呼吸で濡れたマスクの内側は細菌が繁殖しやすい環境にも。肌トラブルを抑える基本的なケアをもういちど見直しましょう。

水分と油分をしっかりと補う



マスクを着用することで「肌は保湿されている」と思っていませんか。それは間違いです。吐息の水蒸気によって肌の水分も必要以上に蒸発しやすくなり、実は乾燥しやすい肌質になっているのです。さらに、マスクが接触することで皮脂が吸着され、肌の油分も失われる恐れも。毎日の洗顔の後には、水分と油分をしっかりと補うことを心がけましょう。

バリア機能を高めることが重要



マスク着用時の刺激に対して強い肌を育むためには、バリア機能を高めることが重要です。蒸れによる細菌繁殖だけでなく、マスクやゴムの当たる部分の摩擦や刺激がかぶれやニキビの原因となります。肌を清潔に保つことを心掛け、潤いを補うだけでなく「保つ」「逃がさない」動きを持つ保湿成分が含まれた化粧品を選ぶことを意識しましょう。